



東方経済フォーラム関連ニュース

ウラジオストク到着に際してロシアのヴラジーミル・プーチン大統領がビデオ会議で企業の立ち上げと建設開始の指示を出す

大統領の指揮の下、特に公共株式会社「ヴィソチャイシー」がサハ共和国(ヤクーチア)の鉱業・精鉱コンビナートで生産の第一段階を、公共株式会社「ポリュス」はマガダンで鉱業・精鉱コンビナートを始動させた。(ロシア第1チャンネル)

ウラジオストクで第3回東方経済フォーラムが公式開幕

参加者に向けた開会挨拶を行なったのはロシアのユーリ・トルトネフ副首相兼極東連邦管区大統領全権代表であった。ユーリ・トルトネフ副首相は、3年間で極東に新たな経済空間が生み出され、19の連邦法、72のロシア連邦法例が採択され、4つの開発機関が創設されたと述べた。(ヴェードモスチ)

東方経済フォーラムの合間を縫ってヴラジーミル・プーチン大統領と韓国のムン・ジェイン大統領との会談が行われる

ロシア、韓国両大統領の会談の結果、両国を直接つなぐ通信システムの構築に関する協定、極東における水産物加工、物流施設の設立に関する覚書などが含まれる書類に署名がなされた。会談後にロシア、韓国両大統領は《極東通り》展を訪問した。(RIAノーボスチ)

ヴラジーミル・プーチン大統領が、東方経済フォーラムの枠内で国家評議会会議を行う
キーとなったテーマは、極東の複合的社會・経済発展問題であった。(RIAノーボスチ)

ベトナムが今後の極東における諸国の貿易関係発展のために尽力

以上の旨を、東方経済フォーラムの過程でベトナム共産党のグエン・ヴァン・ビン中央経済委員会委員長が述べた。(プライム)

インドのスシュマ・スワラージ外務大臣が、ロシア政府が極東地域におけるインド投資家の活動に対して援助を行なうことを期待(プライム)

韓国は極東における協力関係発展に積極的に参加する意向であり、中国、日本とのコンソーシアム創設準備を完了

以上の旨を、東方経済フォーラム開幕の際に韓国のキム・ドンヨン副首相が発表した。

キム・ドンヨン副首相はまた韓国政府が極東ロシアを含む経済関係の発展を担当する特別委員会を設置したと述べた。(RIA ノーボスチ)

アメリカのカリフォルニア州知事ジェラルド・ブラウン氏が、東方経済フォーラム2017に参加した目的はロシア、カリフォルニア州、アメリカおよび太平洋地域諸国の協調の可能性を拡大することであったと述べた。(RIA ノーボスチ)

ロシア政府は日本にサハリンと北海道をつなぐ自動車・鉄道橋建設事業案を検討するように提案

以上の旨を、東方経済フォーラムでシュワロフ第一副首相が語った。(モスコーフスキー・コムソモレツ)

株式会社「極東開発公省」と株式会社「極東石油化学会社」が、経済特区の登録企業と総額6300億ルーブルでユーロ5の自動車燃料とその他の石油化学製品を生産する石油精製・石油化学工場投資プロジェクト実施に関する協定に署名

これにより4420人分の新たな雇用が生まれることになる。(ヴェスチャー・エコノミカ)

ロシア極東開発省はハバロフスクと沿海地方の酪農場建設のための投資プロジェクト実施に関する2つの協定に署名

牛の家畜総数は4万頭。プロジェクトの投資総額は300億ルーブルになる。1000人分の新たな雇用が創出されることになる。(RIA プリマ・メディア)

沿海地方の行政機関と国営企業「ロサトム」は9月6日に東方経済フォーラムの枠内でルースキー島に約25億ルーブルのロシア核医学センターの設立に関するコンセッション契約を締結
同センターは、極東全地域でガンに関する診断・治療を行ない、近隣諸国の患者にも医療サービスを提供する。(RIA ノーボスチ)

ロシア極東開発省と「ESNグループ」がアムール州のスコヴォロジノに年間10億トンのメタノールを製造する工場建設にプロジェクト実現に関する協定に署名
プロジェクト実現に向けた投資総額は443億ルーブルになる。創出される新規雇用数は 234人分である。(ミール24)

ロシア極東開発省と非公開株式会社「ナホトカミネラル肥料工場」が沿海地方におけるナホトカ肥料工場建設投資プロジェクト実施に関する協定に署名。プロジェクトの枠内でアンモニア、尿素顆粒、メタノールが年間400万トン生産される
投資プロジェクトの総額は3870億ルーブルを超え、1950人以上の新規雇用が創出される。(ヴェスチー・エコノミカ)

ベトナム最大の農地保有ホールディングの1つ、THグループの子会社「THロシア・沿海」が沿海地方経済特区「ミハイロフスキー」に企業登録
THグループは3つの畜産施設とミルク工場を開く意向。牛の家畜総数は1万5000頭、ミルク工場では年間生産される牛乳は6万トンになる。(タス通信)

カムチャッカの行政府と企業「地方空港」が東方経済フォーラム2017で空港施設「ペトロパブロフスク・カムチャツキー国際空港」建設に関する協定に署名
現在、空港は年間で60万人以上の乗客にサービスを提供しており、行政府側は乗客数を年間100万人に増やすことを予定している。(タス通信)

極東開発コーポレーションと日露企業「Mazda Sollers Manufacturing Rus」が経済特区「ナジエジンスカヤ」における自動車・マツダのエンジン生産工場立ち上げ投資プロジェクト実施に関する協定に署名
プロジェクトでは年間5万台エンジンを製造する工場建設が提案されている。プロジェクト総投資額は30億ルーブル以上。150人分の新規雇用が創出される。(RIA プリマ・メディア)

極東投資誘致・輸出支援局と韓国のコンソーシアム「Korea Trading & Industries Busan Port Authority Unico Logistics Korean Sea Foods」が協力活動の覚書に署名
覚書の内容は、極東における水産物加工・物流施設の建設プロジェクト支援、行業の投資活動分野での協力活動である。(RIA プリマ・メディア)

極東開発基金と「NPRTS」協会が東方経済フォーラムで「ヴォスホート」システム前進に向けた協力活動に関する協定に署名

同システムの存在は暗号通貨取引のためのプラットフォーム創設を意味している。(プライム)

「ルスギドロ」、日本の政府機関NEDO、サハ共和国(ヤクーチア)は、東方経済フォーラムでサハ共和国チクシ村における風力発電システム構築のための実証プロジェクト実施の意向を記した宣言書に署名

チクシ村には、1メガワットまで発電可能な風力発電所が建設される意向である。(タス通信)

東方経済フォーラム内で、ロシア教育・科学省オリガ・ワシリエワ大臣と「スコルコヴォ」基金ヴィクトル・ヴェクセリベルク総裁が、ルースキー島テクノパーク解説に関する協定に署名

テクノパークには現在37の企業を選出されており、企業選出に際しては計300以上の申請が吟味された。(タス通信)

「ハーヴェル」社が極東にハイブリッド・太陽光ディーゼル発電所を建設

9月6日、東方経済フォーラム枠内でロシアの「ハーヴェル」社が韓国のヒョンデ・コーポレーション、極東投資誘致・輸出支援局と共に同内容を記した協定に署名した。(コメルサント)

ロシア開発対外経済銀行(VEB)が極東を暗号通貨マイニング(採掘)センター建設地の1つとしてみなす

東方経済フォーラム枠内で開発対外経済銀行のセルゲイ・ゴリコフ総裁が表明。開発対外経済銀行はまた、極東における6つの投資プロジェクトを検討中で、約1060億ルーブルを融資する準備ができています。これらのプロジェクトは空港、港、鉄道のインフラだけでなく、先端テクノロジーの産業分野もカバーする。(タス通信)

ロシア直接投資基金と「アルロサ」社が中国などの市場で流通分野を含む共同プロジェクトについて議論を行う

ロシア直接投資基金キリル・ドミトリエフ総裁が東方経済フォーラム2017で発表した。(RIA ノーボスチ)

東方経済フォーラム2017スポーツプログラムが極東企業向けゲームと共に幕開け、230人以上が参加をした(タス通信)

東方経済フォーラム枠内において、アムールトラ、アムールヒョウを保護するためのチャリティーマラソンがルースキー島で開催(タス通信)

東方経済フォーラムにおいて、アムールトラ、アムールヒョウを保護するためのチャリティーオークションがロシア天然資源・環境省のブースで9月6日～7日開催（イズベスチヤ）

極東ロシア

2020年までに11万以上の新規雇用が極東で創出

以上の旨をロシアのセルゲイ・カチャエフ極東開発副大臣が述べた。これは同地域における人口数を安定化させることにつながる。（タス通信）

東方経済フォーラムにおいて沿海地方の経済特区「ナジェジンスカヤ」に4つの企業が15億ルーブルを超える投資額を携えて企業登録

登録した企業は、「ルースキー・ミンタイ」、「コンゲルDV」、「SNK」および「ヴェレス・スネク」である。（IAレグナム）

韓国の輸出入銀行がロシアの極東開発基金と共同して今後3年間で200万ドルを極東地域に融資する可能性

韓国と極東開発基金は輸送インフラ、産業、造船・エネルギー、観光などの分野でプロジェクトを実施する可能性を議論している。（タス通信）

日本企業「JGC Evergreen」が2018年にハバロフスクでイチゴ栽培用温室の建設作業を開始

これは経済特区ハバロフスクで行われるプロジェクトの第3段階である、とハバロフスクのヴァチェスラフ・シュポルト知事は報じた。（タス通信）

「ロスナノ」社がロシア政府に極東再生可能エネルギー基金の創設を提案

以上の旨を、ロスナノ社トップのアナトリー・チュバイス氏が語った。同社は年末までに政府レベルで関連する提案が検討され、決定が下されると見込んでいる。（プライム）

「シベリア電力」社のガスパイプラインのための新たなエネルギーインフラ建設が2018年に開始

今日までに建設中の「サルドゥイケリスカヤ」、「オレクミンスカヤ」2基のコンサプレッサー・ステーションへの技術面での参入に関する契約が締結されている。（タス通信）

中国の投資家の参加により、国際輸送回路 「プリモリエ1」、「プリモリエ2」の近代化作業が予定よりも短い期間で完了

以上の旨を、沿海地方のウラジーミル・ミクルシエフスキー知事が発表した。知事はまた、現時点で《プリモリエ1》の回廊の1つのセクションの近代化が完了し、2020年に完了予定の第2セクションで作業が進行中である、と報告した。（タス通信）

東方経済フォーラムの主催者機関・ロスコンGRESS基金について

2017年の東方経済フォーラムの主催者機関であるロスコンGRESS基金は、最大級の会議・展示会の開催に特化している。

本基金は、会議、展示会、交流などの開催によってロシアの経済的ポテンシャルを発展し、対外イメージを増強する目的で、2007年に創設された。基金はその内容をまとめ、企業や国家機関に対してコンサルティング、情報面、専門家としてのサポートを提供し、さらにはロシア国内・全地球の経済アジェンダの諸問題を全面的に研究、分析、報道している。

現在、一年に基金が主催する行事は南米のモンテビデオから極東のウラジオストクまでと広範囲であり、一つの場で、世界の業界、有識者、マスコミや政府関係者を集めて、新たなアイデアやプロジェクトを話し合うベストな環境を与えるとともに、社会的起業や慈善事業にも支援を進めている。